

▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)

アイヌ (人間)

皆さんは「イランカラプテ」(こんにちは)や「イヤイライケレ」(ありがとう)という言葉をご存じでしょうか。これは、北海道を中心とした地域に古くから暮らすアイヌの言葉です。ユネスコの消滅危機言語(※)のリストには、国内の8つの言語が掲載されており、中でも極めて深刻な状況なのがアイヌ語です。

アイヌは固有の言語や伝統的な儀式など独自の文化を発展させてきました。しかし、明治以降の同化政策や伝統を担う人々の高齢化などにより、文化の伝承が難しい状況にあります。そんな中、アイヌ文化を積極的に発信する人たちがいます。その一人が関根摩耶さんです。関根さんは、高校3年生のころからアイヌ文化を伝えるため、ラジオやYouTubeなどで配信を始めました。「アイヌのことをかっこいいな、すてきだなと思ってもらえるような入り口をつくりたい」という思いが活動の原点だと言います。



アイヌ文化を発信する関根摩耶さん

近年、アイヌが登場するアニメや映画が人気を集め、アイヌへの関心が高まっています。しかし、昨年9月の「人権についての県民意識調査」では、特に関心のある人権問題について「アイヌの人々に関する問題」はわずか1.9%で、関心が十分とは言えません。理解を深めてもらうため、市では学びの場を提供しています。8月26日(月)に開催予定の「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間芳田地区講演会に関根さんが来られます。アイヌの文化を学んだり、アイヌとして生きる人のリアルな声を聴いたりする機会にしてみませんか。

※平成21年2月発表のAtlas of World's Languages in Danger (第3版)。ユネスコでは言語と方言を区別せず、全て言語として統一しています。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

▼問合せ 郷土資料館(☎23-5992)



鶴退治の像



本堂に掲げられている鶴退治の絵馬



平安時代末期の武将、源頼政公ゆかりの寺である長明寺の境内に、頼政公が鶴を退治する場面の銅像があります。鶴とは手足が虎、頭は猿、胴はタヌキ、尾が蛇という妖怪です。「平家物語」では近衛天皇から命を受けた、弓の名手として知られる頼政公が鶴を弓でうち、家臣の猪早太がとどめを刺して仕留めたという伝説が残っています。その功績により、頼政公は天皇から獅子王という御剣を褒美に与えられたと記されています。この銅像は、富山県高岡市の彫塑家・般若純一郎氏の作品で、頼政像と鶴が対峙する様相は圧巻です。また、本堂には明治22(1889)年に奉納された鶴退治の絵馬があります。

市長からの手紙

ー西脇を元気に!!ー

126



西脇市長 片山象三



社会全体で子育てを支援し、子育てしやすいまちへ

今年4月、人口戦略会議(民間組織)から消滅可能性(自治体が発表されました。これは、20〜30歳代の女性が26年後に半減すると見込まれる自治体で、全国の約4割が指定されました。西脇市も2050年の推計対象人口が1599人となり、わずか9人及ばず初めて名を連ねてしまいました。大学進学や就職時に若者が都市部に出ていくこと、外国籍の方の移住が緩やかであったことが影響しました。西脇市ではこうした流れを

食い止めるため、令和2年度に認定こども園の副食費無償化、4年度はこども医療費無償化の所得制限を撤廃し、高校生まで対象を拡大。5年度はこども未来応援事業を、今年度から「育児用品の宅配」を開始するなど、子育てしやすい環境づくりを進めています。また、空き家を活用した移住促進に加えて、高松町などで企業用地の確保、女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む「ひょうご女性活躍推進企業」の認定支援にも取り組んでいます。地域をしっかりと将来世代に引き継ぐため、子育て世帯が孤立することなく、社会全体で子育てを支援する仕組みづくりなど、若者や女性が希望を持てる環境づくりを展開したいと思えます。これからの人口減少の速度を緩やかにする取り組みを進めつつ、市民の皆さんが健やかで心豊かに暮らせるまちづくりを進めてまいります。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー  
「千年の風土を未来につなぐNEW黒田庄づくり」を目指して  
〜黒田庄まちづくり協議会の取り組み〜

黒田庄まちづくり協議会では、「千年の風土を未来につなぐNEW黒田庄づくり」を目標とし、参画する人々が主体的に活動し、地域課題の解決を目指しています。中でも、福祉送迎車運行や黒田庄駅舎「あつまっ亭」の活性化などに力を入れています。新たな取り組みとして、J R加古川線沿線の比延地区自治協議会、久下自治振興会と連携し、J R加古川線の利用促進を図る「J R加古川線(西脇市駅ー谷川駅)維持・利用促進地域協議会」を今年度設立します。さまざまな取り組みを予定していますので、今後の活動にぜひ注目してください。



福祉送迎車の運行



活性化イベントでの餅つき大会

黒田庄まちづくり協議会Instagram ▶



西脇の自然 604

クマイチゴ

ばら科



自生場所は山地の林縁などで、日当たりの良い場所を好みます。半つる性の落葉低木で、キイチゴの仲間としては大型で1〜2mほどの高さになります。葉は6〜10cmほどの大きさになり、3〜5裂の切れ込みが入り、付く枝の場所により大きさや形が異なることがあります。花は5〜7月ごろにかけて、5弁の白色の花が2〜6個集まって咲きます。果実は7〜8月ごろに1cmほどの大きさで赤色に熟し、生食することができます。味は少し甘味がありますが、酸味の方が強く感じます。キイチゴの仲間は多く、果実を見つけたら食べ比べをしてみるのも楽しみです。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】